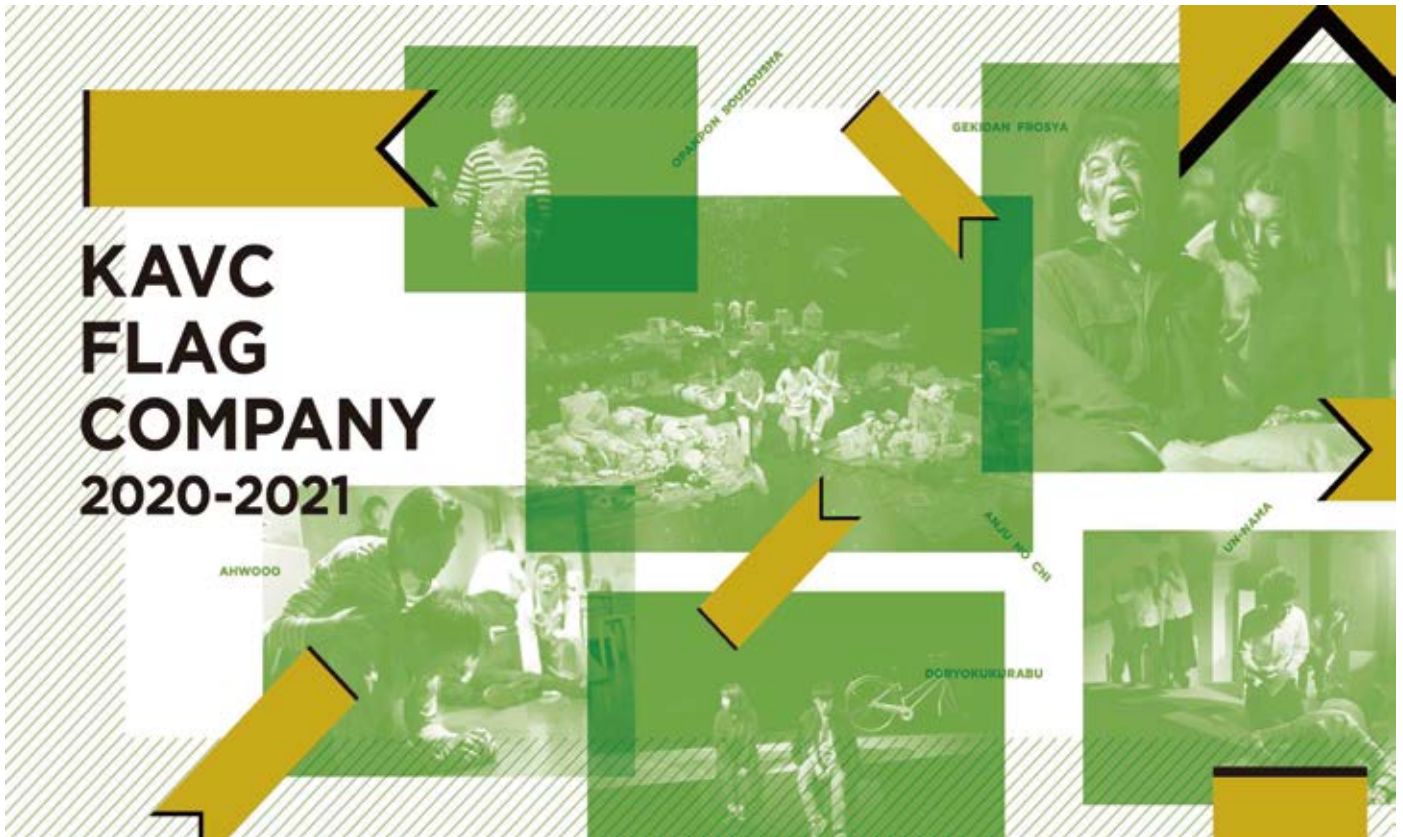


KAVC FLAG COMPANY 2020-2021

プログラム全容発表



今、観ておきたい関西6劇団による演劇セレクション企画 「KAVC FLAG COMPANY2020-2021」開催決定！

神戸アートビレッジセンター [KAVC] (神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団、館長：大谷燠) は、舞台芸術分野における年間プログラム「KAVC FLAG COMPANY 2020-2021」を開催いたします。

「KAVC FLAG COMPANY」は、舞台芸術分野における KAVC の年間プログラムとして、2019 年より新たに始まった舞台芸術セレクションです。アーティストと劇場が協働して多様な舞台表現を生む“創る劇場”を目指し、その基盤をつくるべく本企画を始動いたしました。2 年目の開催となる今回も、関西を中心に意欲的な作品を発表している 6 つの劇団の演劇公演を、当センター KAVC ホールにて上演いたします。

公演に際しては安心してご来場いただけるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に取り組めます。また、観劇パスポートを通じて観客から劇団への支援を届ける仕組みを始動させるほか、昨年度の開催に引き続き、ワークショップやトーク、批評テキストの公開などの関連企画も実施いたします。「劇場」や「演劇」そのもののあり方が問われる今、果敢に挑戦する気鋭の 6 劇団の作品をお届けします。

お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 前田・野澤
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

開催趣旨

KAVC FLAG COMPANY は、KAVC の舞台芸術分野における年間プログラムとして、2019 年より始まった舞台芸術セレクションです。アーティストと劇場が協働して多様な舞台表現を生む“創る劇場”を目指し、その基盤をつくるべく本企画は始動いたしました。本年も関西を中心に、意欲的に活動を行う6つの劇団をセレクトし演劇公演をお送りします。また、合わせて、批評テキストの公開やトーク、ワークショップといった関連企画も開催。各劇団の作品を様々な角度から紹介し、堪能していただける企画です。”演劇”そのもののあり方が問われる今、果敢に挑戦する劇団をラインナップしています。

開催概要

『KAVC FLAG COMPANY 2020-2021』

開催期間：2020 年 11 月 ～ 3 月

参加劇団：Ahwoo、努力クラブ、安住の地、オパンポン創造社、劇団不労社、うんなま（全 6 劇団）

料 金：観劇パスポート 10,000 円

【9月2月（水）10:00～発売／神戸アートビレッジセンター窓口のみで取り扱い】

※その他各公演ごとにチケット発売あり。それぞれ料金が異なります。

会 場：神戸アートビレッジセンター [KAVC] KAVC ホール ※全公演共通

〒652-0811 兵庫県神戸市兵庫区新開地 5-3-14

特設 Web サイト：<https://www.kavc.or.jp/kfc/2020-2021/>

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）、独立行政法人日本芸術文化振興会

主 催：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

神戸アートビレッジセンターでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組めます。

- ・出演者ならびにスタッフの関係者は、毎日の体調確認と検温を行います。
- ・劇場内は常時換気をしています。
- ・客席の肘掛やドアノブ、手すりなどは定期的に清拭消毒を行います。
- ・万が一、公演関係者またはご来場のお客様の中に、新型コロナウイルス感染者がいた場合には、保健所等の公的機関に速やかに報告するとともに、お名前、ご連絡先等の個人情報を保健所等の公的機関と共有させていただきます。

《ご来場のお客様へのお願い》

- ・ご入場からご退場までの間、必ずマスクの着用をしてください。
- ・体調不良の場合は、ご来館をお控えください。
- ・ご入場前に、検温へご協力ください。
- ・ご入場時に、消毒液の使用にご協力ください。アレルギーなどの事情がございましたらスタッフにお伝えください。
- ・施設内では「密」を避け、お客様同士の適切な距離を保ってください。
- ・施設内では、大きな声での会話はお控えください。

お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 前田・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

「KAVC FLAG COMPANY2020-2021」開催にあたって ごあいさつ

昨年より始まった KAVC FLAG COMPANY、おかげさまで今年度もやることになりました。関西を中心に活動している”今見るべき”カンパニーを紹介する企画だったのですが、今年は、それだけではなく、演劇が今できることを、劇場が今できることを、一緒に考え、発信していくものになりそうです。否応なしに。

今回、参加してくれるカンパニーはいわゆる小劇場と呼ばれる場所を主戦場としています。彼らがこの時代に何を考えて何を創ろうとしているのかは、とても興味があります。小劇場という”自由”な空間だからこそ生まれる表現は、必ず観客の皆さんにも”自由”ということを考えるきっかけになると思っています。

演劇は”答え”ではなく”設問”です。

ぜひ、劇場に来て下さい。そして一緒に考えましょう。

ウォーリー木下（神戸アートビレッジセンター 舞台芸術プログラム・ディレクター）

ウォーリー木下 プロフィール

劇作家・演出家。神戸大学在学中に劇団☆世界一団を結成。現在は sunday（劇団☆世界一団を改称）の代表で、全ての作品の作・演出を担当。戯曲家・演出家として、外部公演も数多く手がけ、特に役者の身体性を重視した演出に定評がある。sunday での活動にとどまらず、映像や音楽を取り入れた言葉を発しない、ノンバーバルパフォーマンス集団 THE ORIGINAL TEMPO のプロデュース・演出を行い、エジンバラ演劇祭にて 5 つ星を獲得。スロベニアや韓国、ドイツなどと国際共同製作を行うなど、海外からも高い評価を得ている。11年にPLAY PARK-日本短編舞台フェス、13年に多摩1キロフェスを立ち上げるなど様々な演劇祭でフェスティバルディレクターを務めている。メディアアートとパフォーマンスの融合で注目を集め、従来の“演劇”という概念を超えた新しい挑戦をし続けている。2018年4月、神戸アートビレッジセンター舞台芸術プログラムディレクターに就任。

みどころ/ポイント

①お得にチケット購入！

全6劇団の公演を観劇いただける「観劇パスポート」を販売します。

②観劇パスポートで劇団を応援！

感染症対策による公演中止となった場合に、ご購入いただいた観劇パスの1/6の金額が該当の劇団へ支払われます。

③劇評を公開！

すべての作品の劇評テキストを特設サイトで公開します。

④トークやワークショップを開催！

各劇団の公演に合わせて、ゲストを招きアフタートークやワークショップを開催します。

お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 前田・野澤
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

公演ラインナップ／参加劇団プロフィール

※公演順

Ahwooo 『パンと日本酒』

作 / 演出：中野そてつ (Ahwooo / ソテツトンネル)

出演：牧野亜希子 (Ahwooo)、如月萌 (【ハッカ】 / Ahwooo)

会場：神戸アートビレッジセンター [KAVC] KAVC ホール

公演期間：2020年11月13日(金)～15日(日) ※公演時間等は後日発表

■劇団コメント

「あなたの心を支配するものと、私の心を支配するものが同じって気持ち悪くないですか？」という台詞をどこかに入れようかな、この『パンと日本酒』という作品の中で、と思うくらいの勢いなんですけど、皆さんいま同じものについて考えていますよね。私もです。気持ち悪くないですか？その前ってどうしてました？何に悩んでました？私は労働の契約時間変えようかなとか、脱毛通いたないくらいかなとか、この夏クーラーを買うかどうかとか（買ったわ。給付金で）まあまあどうでもいい悩みに支配されていたんですよね。それが絶対神かよってくらい今、2020年8月現在、人々は同じものを見て、同じものに恐怖して、同じものに対して祈って、なに心をひとつにしてくれてんねん、という気持ちでいっぱいなんです。せめて舞台上だけはそれらを介入させたくない。違う思想を持った二人を、意見の合わない二人を、心を通わせない二人の演劇を作ろうと思います。この二人をどうするか。怪獣とでも闘わせようかなと思ってます。心、通わないままに。



■劇団プロフィール

Ahwooo (あうー)

2017年6月旗揚げ。牧野亜希子、如月萌、中野そてつの俳優二人、作演出一人による演劇ユニット。神戸市高校演劇祭「犬王」(脚本・演出角ひろみ)にて出会った3人が30歳を超えてから再集結し結成された。旗揚げから毎公演必ず関西と東京で公演を行い「いつか三人が出会ったKAVCホールで公演を」という目標を掲げていたがこの度叶う。近年は舞台だけでなくラジオパーソナリティー、YouTube配信や短編配信ドラマ出演等精力的に活動中。<https://ahwooo-hp.jimdofree.com/>

お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 前田・野澤
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

努力クラブ『救うか殺すかしてくれ』

作 / 演出：合田団地

出演：佐々木峻一、西マサト、大石英史 他

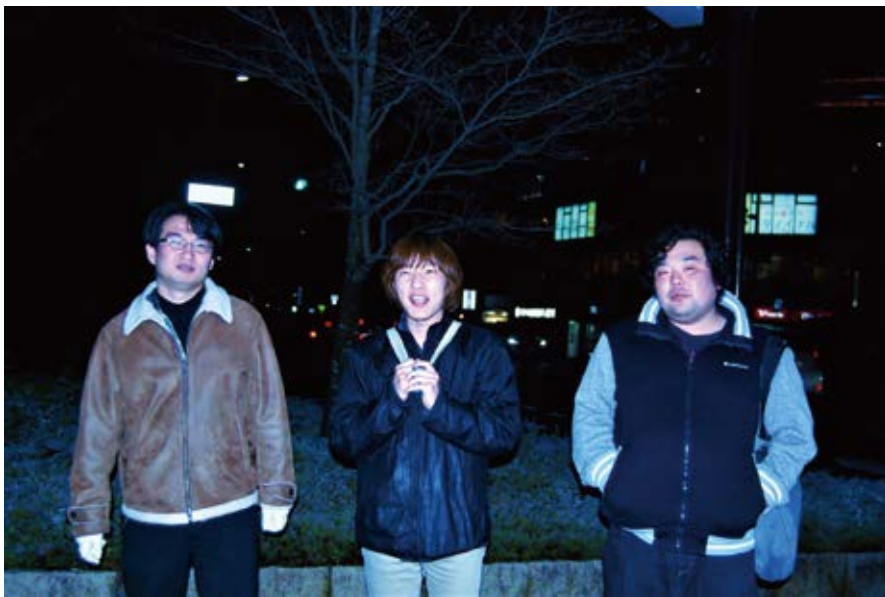
会場：神戸アートビレッジセンター [KAVC] KAVC ホール

公演期間：2021年1月22日（金）～24日（日）※公演時間等は後日発表

■劇団コメント

孤独というものがこんなにしんどいものか。いや、自分的にはもうちょっと大丈夫かと思ってたんやけど、全然アカンというのを思い知らされた。いや、本当はそのことを知ってて、大人になるにつれて折り合いつけれるようになっただけで、自分の弱さを見て見ぬフリしてるだけやった。耐えられなくなりそうになったら、なんとかごまかして。それができるようになっただけ。強くなったって思ってたけど、ごまかす術がなくなってメッキがボロボロに剥がれ落ちたら、昔と同じ弱さ。自分の弱さには耐えかねるけど、でももう泣き方も忘れてしまってるからしんどい。

っていうのを書きたいと思います。愛されへんっていうのに思いを馳せるつもりです。



■劇団プロフィール

努力クラブ（どりょくくらぶ）

2011年、合田団地と佐々木峻一で結成しました。以降、京都を中心に活動しています。時々京都じゃない場所でもやらせてもらうこともあります。作風はといえば、決して明るくはなくて暗くて冴えないです。落ち込んでるときとか息苦しいときとか、駄目なときに見たらホッとできるような作品になってればいいな、と思いながら作っています。深呼吸みたいなのを目指しています。深呼吸みたいなものってどんなのか意味わかりませんが、<https://doryokukurabu.blogspot.com/>

お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 前田・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

安住の地 『iplay!』

作 / 演出：岡本昌也・私道かび

出演：中村彩乃 森脇康貴 日下七海 にさわまほ 山下裕英 武田暢輝 雛野あき 沢柳優大
吟醸ともよ タナカ・G・ツヨシ 他

会場：神戸アートビレッジセンター [KAVC] KAVC ホール

公演期間：2021年2月5日（金）～7日（日）※公演時間等は後日発表

■劇団コメント

京都のアーティストグループ「安住の地」と申します。

この度は「KAVC FLAG COMPANY 2020-2021」に参加できますことを大変嬉しく思っています。

今回我々は、団体内の二人の作家（岡本昌也・私道かび）の共同制作第二弾として「iplay!」という新作を上演致します。社会の中で人との距離感や価値観が急激に変化しつつある今、「スポーツ」を題材に、個 / 大衆、プレイヤー / サポーター、勝者 / 敗者、文化 / 経済、などの観点からダイナミックな劇表現を展開します。ぜひご期待ください。



撮影：K YOSHIDA

■劇団プロフィール

安住の地（あんじゅうのち）

京都を拠点に活動している劇団 / アーティストグループ。2017年旗揚げ。演劇を軸に置きながら、音楽・写真・映像・ファッションなど様々なカルチャーとコラボレーションし「ミクストメディア」な作品を発表し続けている。複数の作家と多ジャンルで活動する俳優が集い、ひとつの作品を組み立てていくスタイルは、SF劇・コメディ・メディアアート劇・VR劇・音楽劇・無言劇など幅広く展開し、新感覚でカオティックな劇体験を生み出している。<http://anju-nochi.com/>

お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 前田・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

オパンポン創造社 『オパンポン★ナイト～ほほえむうれひ～(仮)』

作 / 演出：野村有志

出演：野村有志 / 川添公二 (テノヒラサイズ) / 飯嶋松之助 (KING&HEAVY)
/ 伊藤駿九郎 (KING&HEAVY) / 成瀬遙 (テアトルアカデミー) / 他

会場：神戸アートビレッジセンター [KAVC] KAVC ホール

公演期間：2021年2月26日(金)～28日(日) ※公演時間等は後日発表

■劇団コメント

オパンポン創造社として KAVC で公演するのは、約 13 年ぶりです。その頃とは勿論、この数ヶ月でもありとあらゆる物差しが変わりました。それは何気なく交わす日常会話にまで及んで、登場人物が抱える悩みさえも。

混沌とした今と向き合いながらも笑える作品をお届け出来ればと思っています。

3本の短編で紡ぐオムニバス「オパンポン★ナイト」。皆様、劇場でお会いしましょう。



撮影：勝山修平 (彗星マジック)

■劇団プロフィール

オパンポン創造社 (おぱんぽんそうぞうしゃ)

2004年8月、野村有志による一人演劇ユニット・オパンポン創造社を旗揚げ。全作品の脚本・演出を野村が務め、ペースと笑いを融合させ泥臭い人間模様を描くのを得意とし、独自のテンポと間を駆使した台詞で魅せる作品が支持されている。役者としても精力的に活動中。
<https://opanpon.stage.corich.jp/>

お問合せ：神戸アートビレッジセンター (指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団) 担当 前田・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

劇団不労社 『BLOW & JOB (仮)』

作 / 演出：西田悠哉

出演：宮前旅宇、村田千晶（以上、劇団不労社）ほか

会場：神戸アートビレッジセンター [KAVC] KAVC ホール

公演期間：2021年3月12日（金）～14日（日） ※公演時間等は後日発表

■劇団コメント

劇団不労社としては近年、ムラ社会的閉鎖コミュニティに発生する衝突や軋轢、排斥、すれ違い、不条理、及びそれらに伴う人間関係の変化をユーモラスに（もしくは露悪的に）描いてきたが、これらを「集団暴力」シリーズと銘打ち、集団、つまり共同体に内在する暴力性について連作を通じて体系的に取り組んでいきたい。今回の新作では過労死や不当な長時間労働などで何かと話題になる「ブラック企業」問題を主題に取り上げる。「労働」という大義名分の下で繰り広げられる不法・脱法行為、犯罪行為、ハラスメント行為、ひいては人権侵害や搾取構造が現代日本社会に落とす影から、「働くこと」の本質について浮かび上がらせるべく創作を試みる。



■劇団プロフィール

劇団不労社（げきだん ふろうしゃ）

2015年に代表の西田悠哉が大阪大学を母体に旗揚げ、以後大阪をはじめ関西を拠点に活動。

虚構と現実の間、条理と不条理の間、センスとナンセンスの間、笑いと恐怖の間、クールとシュールの間、冷静と情熱の間をいくぐりつつ、ニッチな需要を探る隙間産業式零細劇団。

最近では「現代口語演劇 meets Z 級ホラーコメディ」と称し、リアリズムをベースに置きつつ、日常的光景から超現実的次元へ物語をスライドさせ、その裂け目から覗いて見える歪な人間模様を滑稽かつグロテスクに描く作品づくりを行う。「應典院舞台芸術祭 Space×Drama×Next2018」にて優秀団体ほか、脚本賞・演出賞など受賞。「令和2年度次世代応援企画 break a leg」選出。（※コロナウイルスの影響により次年度に延期開催。）2021年7月に AI・HALL（伊丹市立演劇ホール）にて新作上演予定。
<https://www.furosy.com/>

お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 前田・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

うんなま 『ANCHOR』

作 / 演出：繁澤邦明

出演：秋桜天丸、雀野ちゆん、和栗一（以上、うんなま）ほか

会場：神戸アートビレッジセンター [KAVC] KAVC ホール

公演期間：2021年3月26日（金）～28日（日） ※公演時間等は後日発表

■劇団コメント

「山から下りて来た野武士の力試し」…およそ4年前、うんなま（当時、劇団うんこなまず）はそんな気概で『ANCHOR』という作品を、大阪ウイングフィールドにて上演しました。「わけがわからない、けど面白い」「演劇の新しい見せ方」「話に頭が全然ついてきてないのに体が自然と呼吸を合わせてあの空間に馴染んでいった」…そんな感想とともに、この作品は再演を期待されてきました。「何を手掛かりに創作してるのか全くわからない」「意味がわからないことを楽しめる人間にしかおすすめでできない」「こいつらは危険だ」…え、そんなに？ですがまあKAVC、劇場でエンゲキ。人間を垣間見る、うんなま的時空間ですよ？今、この有り難い機会を存分に楽しみます。楽しみましょうね。…ね！



■劇団プロフィール

うんなま

2010年に大阪大学発の学生劇団プロデュース「劇団うんこなまず」として発足。以後ゆるふわアンダーグラウンドに活動し、2017年より現団体名に改定。現代社会への批評的な眼差しを遊び心たっぷりに、ナンセンスでセンチメンタルな演劇時空として立ち上げる。現代性と虚構性の両立する独特の作風は「ジャンル:うんなま」「これぞ演劇」と評され、マニアックな人気を博す。ウイングカップ7最優秀賞受賞。平成30年度次世代応援企画 break a leg 選出。

<https://www.unkonamaz.com/>

お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 前田・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。